

最終
号

学校だより



令和8年3月18日発行
東京都立中野特別支援学校+
しいの木分教室

校長 和田 慎也

<https://nakano-sh.metro.ed.jp/>

今年度もたくさんの応援、本当にありがとうございました。

校長 和田 慎也

今年度もいよいよ締めくくりの時期を迎えました。さくら校舎としいの木分教室の学校運営がはじまりましたが、校長としては、計画通りにならず悔やんだり、新たな発見に喜んだりした1年でしたが、学校楽しいよ！と言ってくれる子供たち、ともに取り組んでくれた教職員、そして、子供たちを元気に送り出し、いつも学校に励ましのことをいただいた保護者のみなさま、地域、施設職員の方々に感謝を申し上げます。これからもさくら校舎としいの木分教室が、互いに支え合いながら、子供たちの笑顔と成長を大切にする学校として発展していくことを心より願っています。そして、卒業・進級を迎える生徒のみなさんが、これからも自分らしく輝き続けることを応援しています。本校を支えてくださったすべてのみなさまに深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

小中担当副校長より 赤阪 早苗

さくら校舎での学校がスタートして1年が経とうとしています。体育館やグラウンドがない等困ったことや初めてのことに、大人も子供も不安はあったかと思いますが、教職員は子どもたちの順応性の早さに驚かされ、笑顔に励まされました。

また、保護者の皆様の御理解御協力に加え、地域の皆様が自分のことのように、本校の現状打破を考えてくださる温かいお気持ちに支えられました。おかげさまで、さくら校舎での活動がより豊かなものとなり、子供たちのできることが、ますます増えていきそうです。本当にありがとうございました。

来年度も多くの子供たちの心の健康と安全を守るため、学校、家庭、地域が連携していけるように引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

高等部担当副校長より 湊 映子

神田川の美しい桜並木に迎えられ、仮設校舎に引越してから1年が経ちました。地域の皆さま、保護者の皆さまに支えていただき、今年度も無事に終えることができました。みなさまのあたたかい御支援に、心から感謝申し上げます。

目まぐるしく変化する時代の中で、子供たちが地域とともに安定した生活ができることが大切です。学校という社会の中で、子供たちが生きる力をたくさん身に付け、たくましく社会で生きていけるよう、学びを積みかさねていきましょう。「一人で学校来られるようになったよ」と自信たっぷりに教えてくれた小学生の姿に、明るい未来を感じました。みなさま、来年度も引き続き御支援よろしく願いいたします。そして学校を支えてくださった全てのみなさま、ありがとうございました。

しいの木分教室副校長より 遠藤 隼

中野特別支援学校の分教室となり、もうすぐ1年になります。この1年は、さくら校舎としいの木分教室の児童・生徒はもちろんのこと、教職員もお互いのことを知りながら、ともに活動することでより分かり合うことができた1年でありました。

しいの木分教室には、1反、約600畳（6畳のお部屋が、100部屋分）の大きさの畑があります。今年度は、交流などの機会にさくら校舎の児童・生徒にも野菜の袋詰めや歓迎用の看板制作を協力してもらいました。来年度は、さくら校舎の児童・生徒もしいの木分教室の畑で、しいの木のみんなと一緒に収穫等を体験し、交流できるよう計画しています。学校の距離は離れていますが、お互いが普段学ぶ場で交流し、同じ学校の仲間としてより親睦を深め、学習を積み重ねていきたいと思っています。

経営企画室長より 増田 聡

さくら校舎への移転に始まり、スクールバスの運行、外部の体育施設の使用など、さまざまな課題に直面しましたが、1年間を終えることができました。御不便をおかけしたことをお詫びするとともに、知恵を出し合い、協力していただいた教職員・地域・保護者の皆様に感謝申し上げます。そして挨拶・企画室のゴミ出し・作業学習の製作品のプレゼントなど、児童・生徒のみなさんには毎日励まされ、癒され続けました。その素直な気持ちを忘れずに、これからも元気で頑張ってください。御活躍をお祈りします。

今後も、学習環境の確保・向上のため、経営企画室は努力して参ります。来年度も引き続き、御協力・御支援をお願いいたします。

小学部主任より 佐藤 智子

ピカピカのさくら校舎でのスタートからあっという間に1年が過ぎました。移転前は子ども達が不安になったり、落ち着かなくなったりするのは、と心配しましたが、すぐに新しい校舎、クラスに慣れ、元気いっぱい楽しく学校生活を送ることができました。

屋上までの長い階段をがんばって上っての朝の運動。皆気持ちよさそうに走っています。音楽室での音楽。教室とはちょっと違う雰囲気の中楽しく歌ったり、楽器の演奏をしたりしました。また、中庭でのプール。高学年は中野二中まで移動しての温水プール。さくら校舎での初めてをたくさん経験し、成長した1年でした。

23日には6年生30人が小学部を卒業します。また、1年生から5年生は次の学年に進級します。今年度も保護者の皆様の様々な御協力に感謝いたします。本当にありがとうございました。

中学部主任より 朝枝 貴政

初めて生徒たちがさくら校舎を訪れた日、「きれい!」「広いなあ」と新しい校舎に目を輝かせていた日から1年が過ぎようとしています。この一年間、中学部は数多くの新しい経験を積むことができました。

まず、外部体育施設での体育です。バスでの移動や慣れない環境の中でも、生徒たちは一生懸命スポーツに取り組みました。また、デフリンピックの見学では練習した手話で応援することができました。

次に、しいの木分教室との交流です。マザー牧場や鴨川シーワールドでたくさん思い出を作った修学旅行や、ダンスや楽器演奏を通じてお互いの良いところを紹介し合った2年生の交流など、離れた場所にいる新しい仲間と一緒に行事を楽しむことができました。

24日には3年生29名が卒業します。保護者の皆様には一年間の教育活動に御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。中学部で身に付けた力を、高等部での進路決定に向けた礎として、これからもさらに成長することを期待しています。

高等部主任より 半田 利和

南台校舎からさくら校舎に移って1年が過ぎました。新しい明るい校舎で学べる嬉しさがありますが、バスで移動する保健体育の授業など、学校外での学習も多く戸惑いながらもそれぞれの目標に向かって頑張った1年だったと思います。1月の作業販売会では、日頃の作業学習の成果を保護者や地域の皆様に御覧いただくことができました。

高等部は自立と社会参加を目指して教育活動を行っています。本日3年生41名が卒業し、それぞれが新しい進路へ旅立ちます。この3年間、いろいろなことがあったと思います。南台校舎での体育祭、文化祭、東京ディズニーランドや横浜に行った修学旅行、現場実習、日々の授業、どれも良い思い出になったと思います。卒業後の活躍を願っています。

1、2年生はそれぞれ進級します。2年目のさくら校舎がより充実するよう頑張っていきましょう。

しいの木分教室より 江藤 佑

今年度より中野特別支援学校の仲間となり、本校の皆さんと様々な形で交流できた一年でした。

6月、本校と分教室の中学部3年生合同で修学旅行に行き、共通の思い出を作ることができました。また、同じく6月に本校高等部の1年生がしいの木分教室に来て、体育館での交流をしました。

11月、今度はしいの木分教室のみんなでさくら校舎を訪れ、学部ごとに授業を行う中で交流しました。しいの木の子供たちは、本校の給食もいただきました。

1月、本校の中学部2年生がしいの木分教室に来て、6月の高等部と同じく、体育館での交流をしました。6月も1月も、一緒に踊ったり、学習の成果を発表しあったりして、笑顔があふれるひと時でした。

来年度もより一層交流を深め、良い刺激をしあってお互いに成長していけるよう、距離は離れていても本校と分教室でしっかりと手を取り合っていきます。